



No. 25 号



成 田 市
2011 年 2 月発行



～あらゆる場に男女が参画し 協働するまちづくり～



半世紀以上の思いが詰まる真っ赤なリンゴ 重いよね。 「きずな」に何を思うかな

★ Contents (主な内容) ★

- ☆ 第5回男女共同参画セミナー発表
要旨
- ☆ 男女共同参画推進員の思い
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法 5本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

仕事と家庭どちらも大事

わたし 流のバランスで

12月4日（土）成田市役所を会場に第5回男女共同参画セミナーを開催しました。
仕事と子育て真最中のパパ、農業女性の経営等への参画を推進されている方、国際結婚され国際交流やボランティア活動に関わられているお二人の方。
自分らしいバランスで主体的に生活されている4人のお話の要旨を掲載します。

☆ 石神 章 さん

同じ職場の共働き夫婦で、「家事、育児は手のあいた方がやる」を約束ごととしています。家事、育児にかかわることに抵抗などなく、参加することが当たり前だと思います。職場も同じ状況の人が多く、お互いにフォローしあえる恵まれた環境にいると感じています。理解し合うことが大事なことと思っています。



☆ 一鍬田 明子 さん

夫と長男と三人で果樹農園を行っています。自営業は、家族の協力が一番大事で家族間で家族経営協定を締結しています。契約を交わすことで自分の存在をハッキリさせられ、またそれぞれの立場を思いやれることができます。各々の家庭にあった内容で良く、特に女性の家事とのバランスや経営への参画をアドバイザーとして推進してまいりたいと思います。



☆ 増田 賢淑 さん

日本に来て21年目になりました。ボランティアで韓国語を教え、また、国際交流に長く関わっています。一人の力では難しく、夫と3人の子どもの協力があって長く続けてこられました。子どもたちとは、毎日、一日の出来事を話したり聞いたりしコミュニケーションを深める努力はしてまいりました。

成田国際高校の非常勤講師もしておりますが、生徒に対しても常に母のような気持ちで接しています。



☆ 石井 アヌーシャ さん

スリランカ出身で初めての日本は不安と心配もありましたが、外国人だからとさみしい思いはせずいろいろな人との関わりをもつことで関係が深まったことはうれしいことでした。日本語を猛勉強し、漢字もわかり不自由を感じることはありません。夫も子供も自身の立場で家事に協力してくれます。また、夫のお母さんともとても良好な関係です。とても幸せなことと思っています。



男女共同参画推進員の思い

人々の心や意識の醸成を第一義とする事業は、目・数値に反映されにくく、かかわる者の心を不安にさせることがあります。それでも、発信し続けることが大切な一歩と私たちは考えます。一年間の活動を通じて推進員としてのそれぞれの思いです。

育児中の女性の社会参加は、未だに困難と感じましたが徐々に男性の育児への変化の兆しが見えてきました。企業等が男女共同参画を理解し、社会全体で支え合うことがなによりも必要です。

見通推進員

流行語のひとつに「育メン」がありました。あたり前のこととして育児に関わる男性が増えてくれることを願います。また、細やかな感性に秀でている女性の能力が経済の活性化に役立ってほしいと願わずにはられません。

小川推進員

男女共同参画推進員として参加することでいろいろな勉強をさせていただきました。多くの方々との話題も増して、よい一年でした。

川瀬推進員

会長として一年間無事に過ごすことができました。推進員の皆様が生き生きとした表情でいてくださり本当に楽しく活動できました。

小倉推進員

受講者の意見を伺ううち男女共同参画社会が一步一步進んでいることを肌で感じてきました。成田市での居住に対し「いい街にお住まいですね」と言われる様な街、誇れる街づくりに活動を通じて携わりたい。

水間推進員

昔と違い男女間の格差がなくなってきました。推進員が運営する講演会等、内容によっては男性の参加が少ないようです。生きがいを見つけるのに男女差はありません。皆さんが元気で明るく生活できるような推進ができればと思います。

櫻井推進員

男女共同参画って何だろう。と質問する私に、それを教えてもらっておいでよ。と息子に言われて早一年。その答えはまだ模索中ですが、もしかすると仲間同士で互いに共感することなのかなと思います。

齋藤推進員



感じたこと： 1. お互い相手を尊重し、生かし、昔の風習に捉われず新しい男女のあり方ができつつあること。2. 家事、育児、仕事などお互いの共同作業と捉え積極的に参加し生きがいのある生活を目指すこと。
その手助けとなるのが推進員の役目だと感じています。

中村推進員

さざなみインフォメーション

◆男女共同参画推進員を募集します

社会や家庭で、男性と女性がさらに平等になるために講演会やセミナーを開催し啓発をおこなっています。

その、企画運営に携わり男女共同参画社会の推進を担っていただく男女共同参画推進員を募集いたします。

☆ **応募資格** 市内在住で平成23年4月1日現在20歳以上75歳未満の人

☆ **募集人数** 10人

☆ **応募方法** 様式は問いませんが、次のことを記載したものを企画政策課へ

住所、氏名、性別、生年月日、これまで参加した活動。「推進員として目指すこと」400字程度にまとめたものを持参か郵送、FAX、Eメールで

☆ **応募締め切り** 3月1日（火）必着

* 詳しくは企画政策課(20-1500)へお問合せ下さい。

◆おたより募集！

☆男女共同参画に関するご意見・ご感想などをお送りください。お待ちしております。

☆おたよりの送付先

〒286-8585 成田市花崎町 760

成田市企画政策部企画政策課 男女共同参画班

☎ 20-1500 ファックス 24-1006

Eメール kikaku@city.narita.chiba.jp

⊕働くお母さん・お父さんの豆知識⊕

メディア・リテラシー

メディア・リテラシーを総務省では、情報の受け手側がテレビ、新聞などの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスして活用する能力、メディアを通じてコミュニケーションを創造する能力の3つをメディア・リテラシーとしています。インターネットや携帯電話なども急速に発展し、多くの情報を瞬時のうちに得ることが可能となっていますが、それだけに正しいのはどれか分からない事も多くなります。得た情報を鵜呑みにすることなく、客観的に読み説く力をつけることが必要です。

それには、ひとつの情報に頼らず、複数の情報を比較して主体的に判断できるような努力が必要です。



編集後記

お餅やおせちで重くなった体。おいしさや楽しさを満喫した後は、「どうしよう」の思いが心を覆う。さまざまなダイエットを試しても、なかなか効果には結びつかない。

減量に成功する秘訣は、意識することが大事で、そのためには記録することだそう。毎日体重を量り、記録し、自分に意識付けすることができれば方法はなんでもいいそうです。挑戦してみませんか?一緒に。

さざなみは、支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンター、市のホームページ <http://www.city.narita.chiba.jp> にあります。